

よい会社をつくろう。よい経営者になろう。よい経営環境をつくろう。

2020

7月号
vol.648

月刊

同友

MONTHLY COMMUNICATION MAGAZINE DOYU



ポケット月刊同友



特集 2019年度 運動総括

運動総括

2019年度スローガン 人が育つ組織をつくり、 新たな仕事づくりと企業体質の強化を図ろう

～企業づくり、地域づくり、同友会づくりを一体として取り組もう～

2019年度は、このスローガンを掲げ、人間尊重の「労使見解」にもとづく企業づくりを進め、私たちの運動の姿を地域に示そうとスタートしました。元号が令和へ変わり、新たな時代の幕開けとなりましたが、昨秋の消費税増税による消費減速が表面化し始めた2020年1月、中国武漢にて発生した新型コロナウイルス感染症は日本国内で発見されてから、未だ終息が見通せず、会員企業の経営に深刻な影響を与えています。この感染症は全世界へ広がりを見せており、地域経済に及ぼす影響は長期化すると考えておかねばなりません。わずか2、3か月足らずの期間で世の中の状況は一変してしまいました。私たちは、なお一層の経営環境の変化に対応できる強靱でしなやかな企業づくりを進めていく必要があります。

2019年度は組織を変え、4地区21支部、5本部1室、15委員会8部で活動を進め、新たに本部制を確立し、委員会や部の連携がスタートしました。運動の現状や課題が整理され、本部を通じて解決策の模索が始まりました。また、理事定数を削減したことにより、顔が見える理事会になり、より活発な意見交換の場になりつつあります。組織の改編は、2年間を通して振り返る必要があります。3月は新型コロナウイルス感染症拡大防止のために公式の会議と会合の中止を申し合わせました。年度の最後に十分な活動が出来る残念ではありましたが、今年度の活動を振り返りますと、以下のような特徴があります。

1 各支部では、事前のプレ例会を納得するまで行うなど充実した例会づくりが進められています。また、中協が主催する全国行事への参加者も増加するなど学びの機運は高まっていますが、経営指針に基づく人を生かす経営の実践は十分ではありません。労使見解を継続的に学ぶ機会が限定的であることにも一因があると思われ

2 専門委員会では、多様で情勢も捉えた活動が積極的に進められ、成果も出ています。各委員会の活動が活発な一方で、委員会への参加の広がりはありません。専門委員会の行事案内を会員に広く周知するなど、委員会の意義や魅力を伝え、委員会への参加を広げることが必要です。

3 田川支部、のおがた支部など筑豊地区では中小企業振興基本条例を活用した取り組みや条例をテーマとした例会が開催され、行政からの参加がありました。糸島支部では条例制定の動きが始まりましたが、他地域への広がりはありませんでした。先進事例を全県へ広めていくことが大切です。

4 福岡県をはじめ、四地区とも行政との懇談会などを通じて関係づくりを進めています。また、各地区での金融機関との勉強会の開催、また福岡県信用金庫協会との提携ローンなど具体的な連携が始まりました。さらに同友会の発信力を強化し、広く会内外へ活動内容を広めて行くことが求められます。

5 語り部づくりなど役員づくり強化の取り組みに着手しました。同友会運動を強化するために、役員づくりに向けた効果的な学びの場を構築するなど、体系化された役員研修の具体化が急がれます。

6 2019年度は会員のみなさんの協力のもと、229名の新たな会員を迎えました。さらに同友会の魅力を地域の経営者に伝えていくことが求められます。また、退会者が予想より多かったとする支部からの課題が目立ちました。さらなる支部例会の充実とラロック会で会員同志の密なコミュニケーションを図り、同友会の良さが伝わるようにつなげていくことが必要です。

2019年度の活動の到達点と成果をしっかりと確認し、課題を明らかにして2020年度の活動につなげていきましょう。

同友会 3つの目的

よい会社をつくろう

よい経営者になろう

よい経営環境をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して、企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

今月の表紙

博多祇園山笠

撮影・文／ 富谷 正弘(玄海支部) 株式会社ココスイメージ
撮影取材：2019年7月15日



博多祇園山笠の起源は諸説ありますが、一番有力とされているのが、鎌倉時代の仁治2年(1241年)に博多で疫病が流行した際、承天寺の開祖・聖一國師(円爾)が町民が担いだ施餓鬼棚にのって、疫病退散を祈願して祈禱水を撒きながら、町を清めてまわったことを発祥とするという説です。

今年の山笠は新型コロナウイルスの影響で延期となりました。今回の延期は、戦中・戦後の物資がない時代の中止とは大きく異なり、人命に係るため開催を取り止めることとなりました。追い山神事は行われず予定ですが、疫病退散を祈願する7月15日の午前3時の祇園例大祭は行われます。疫病退散の祈願で、早く新型コロナウイルスの問題が落ち着くことを祈っております。



労使見解を軸にした経営指針の成文化と企業内での実践を

- 成果 経営指針作成3Daysセミナーは応募多数でした。
人を生かす経営推進本部による委員会連携により、バリアフリー委員会の重要性が明確になりました。
「社員と共に学ぶ」研修を通じて、経営幹部や社員と共に作る指針書への実践を進めました。
企業変革支援プログラムを深める研修や管理会計マスター研修を実施しました。
「経営者の基礎講座」を全4回開催しました。

社会の変化に対応できる企業体質強化の取り組みを

- 成果 中小企業版RE100への取り組み企業も出てきており、環境経営が実践されています。
各会議でのペーパーレス化が始まりました。
増強部会によるSNS活用が開始されました。
ソーシャルビジネス委員会で、ビジネスと地域活性化が結びついた活動が行われ、例会ではゲストが多く参加しています。

社員が生き生きと働ける職場づくりの取り組みを

- 成果 国際交流委員会にて海外取引・外国人採用を実践できた会員ができました。
北九州地区を中心に高校新卒採用が活発化しました。
大学新卒採用と、高校新卒採用の仕組みが確立しつつあります。
共育委員会にて、女性が参加しやすい昼間の研修を開催しました。
バリアフリー委員会にて企業見学をオープン講座として開催しました。

お客様や地域に必要とされる企業づくりの取り組みを

- 成果 田川支部では、行政や地元高校などを巻き込むハイブリッドな取り組みを実践中です。
会員が新聞記事となりました。
九州情報大学キャリア講座で若者に中小企業存在を伝え続けています。
ソーシャルビジネス委員会では、リノベーションによる街の活性化が進み、地域に必要な存在として活躍中です。

永続する企業づくりの取り組みを

- 成果 同友すはる委員会において、幅広い事業承継の研究が行われています。
環境経営委員会にてSDGsの勉強会が始まりました。
国際交流委員会にて、ロシア経済団体との経済交流MOUを締結しました。

役員育成の強化

- 成果 研修本部にて「語り部プロジェクト」を発足し、語り部へと成長するロードマップを作成しました。
九州沖縄ブロックの役員研修に56名の参加がありました。

2500名(2020年3月末)の仲間づくり運動の推進

- 成果 増強情報を週報として通知しました。
例会等に多くのゲストが参加しました。
SNSの活用のルール作りを行い、紹介に頼らない増強のあり方を模索しています。
新会員フォローアップセミナーの内容の見直しを行いました。

会員企業の実態把握と対外広報の強化

- 成果 入会までのフォロー体制を作ることが必要です。
新会員フォローアップセミナーの報告内容や資料を分かり易いものへ見直すことが必要です。
福岡地区にて空白地域の会員へのアンケートを実施し、新支部設立に向けて動きが始まりました。

財務の健全化

- 成果 総務財政室会議を毎月行い、各活動、予算の執行状況を確認しました。
会費回収率向上の取り組みを行いました。

事務局機能の強化と職場環境の改善

- 成果 リスク管理のための事務局用のBCPPを作成しました。
複数のプロジェクトを作り、働く環境の改善に向けた取り組みを行いました。
研修などを通じて、理解を深める機会を設けました。

新たなビジョンの策定

- 成果 2020年度に10年ビジョンを作成します。
2020年度に完成するビジョンをいかにして会全体へ浸透させるかの取り組みが必要とされています。

中小企業憲章・条例推進月間の取り組みなど、中小企業憲章の精神を広める運動を

- 成果 中小企業憲章・条例推進月間勉強会を開催し、地域内経済循環の必要性について考えを深めることができました。
田川支部で、田川市産業振興会議の取り組みが行われ、先進事例となりました。
糸島市で中小企業振興基本条例制定の動きが始まりました。

行政、教育機関との関係づくりと連携を

- 成果 福岡県商工部との意見交換懇談会を2回開催しました。
特別支援学校の生徒さんの職業実習受け入れを行いました。
福岡地区会で中学校での出前講座の見学を実施しました。
北九州地区会採用共育研究会で高校・大学のインターンシップ、出張出前講座や先生との懇談会を開催しました。

会員企業の景況調査分析と対外発信

- 成果 景況調査を実施し、消費税増税の影響調査や採用状況についても調査しました。調査分析レポートにて対外発信しました。

金融機関、他団体、マスコミとの関係づくりと連携を

- 成果 福岡県信用金庫協会と提携ローンの覚書を交わしました。
報道記者懇談会を開催し、推薦された会員企業の新製品等のプレゼンを行いました。
北九州地区会で信用金庫との勉強会、福岡地区会では金融機関との勉強会を開催し、関係づくりを進めました。

エネルギーシフトの推進と地域内経済循環の学習を

- 成果 環境経営委員会でも中小企業版RE100の策定に向けた議論が始まりました。
SDGsの学習が始まりました。
ソーシャルビジネス委員会では地域資源の存在と活用によるまちづくりについて考えを深めました。

地域の未来を展望し、地域経済ビジョンづくりの取り組みを

- 成果 筑豊地区会でも地域ビジョンの進捗確認のためのロードマップを作成し、進捗確認指標を決めました。

永年表彰者からのメッセージ

30years 合資会社こちら総務部 代表社員 四ヶ所 十郎 (久留米支部)

30年前、大学1年後輩の清村さんから、「十郎さんにびったしの会があり、入会手続きしたいから!」と電話があった。

そして今、表彰を受ける身となった。同友会の人脈は遠く北海道にまで広がり、多くの友を得た。自主・民主・連帯、私の哲学ともなった。

もう少しの間、皆さんにお相手頂きたいと思います。



30years シーエススチール株式会社 代表取締役 松原 照明 (かすや支部)

「気がつけば30年」

光陰矢のごとしと言いますが30年の月日が流れました。紹介者は中学・高校の同級生で青年・福友支部歴代支部長の木村敦彦さんです。当時は父の会社で勤務しており経営者になる考えは皆無でしたが、同友会に入会したことが起業するきっかけとなりました。青年支部に所属して多くの学びが現在の会社経営の基盤になっています。特に第三期より始めた経営計画発表会は今年で26回目になり、毎年社員さんと共に作る経営指針書がブラッシュアップしています。経営理念「共尊共育」の根幹も同友会で学んだ我が社の基軸となっています。



20years クレアツール-Createur- 代表者 池田 由香 (飯塚支部)

同友会に入会させていただいて早20年。飯塚支部の皆さんには心より感謝申し上げます。

何ひとつ経営していくことを知らないまま、フラワーショップクレアツールを立ち上げた頃、あまりの無知と無謀な私を心配し、同友会入会を勧められました。(会歴は長いですが)十数年は出産や育児もあり、経営者の自覚もないまま、幽霊会員のような状態で、経営する大変さ、またそれを改善することを痛感してきたのは、ここ数年です。これからの人生、やっておけば良かったという後悔を少しでもなくしてゆきたい思いで、精進の日々を過ごしています。



30years 株式会社エム・エス・ピー 取締役会長 縄田 泰三 (中央支部)

この度、同友会に入会して早30年目を迎えたことを振り返り、大変、感慨深い思いです。会社を1986年に創業し、同友会には北九州中央支部に入会し、その後福岡の中央支部に移籍しました。今回の新型コロナウイルス問題は、社会に大きな影響をもたらしていますが、弊社も、今日まで幾度となく障害や問題を乗り越え、現在があるのも同友会に関わってきたお陰だと思っています。そして3年前に長女に事業承継をしたことで、次の時代が開けていくと思います。これから第一線を離れ、また新たな活動に精力を注ぎたいと思っています。



20years コンダクト株式会社 代表取締役 和田 克之 (北九州支部)

私は、25歳で起業し持続することが精一杯の日々で、先輩に誘われ同友会に入会しました。経営計画書の作成の重要性を認識して実行し、それが転機で会社を進化させることができました。

今後、老舗(東商リサーチ定義)30年に向けた取り組みは、コロナ後の社会を見据えユーザー視点と常に社会変化に適応させパラダイムシフトから、地域社会との共生(歩む)も考えています。個人として“美德”を基軸としながら、知や行動の在り方を常に自分自身に問い続けています。



20years 里村工芸 代表者 里村 博 (りょうちく支部)

この度は会歴20年の永年会員表彰、ありがとうございます。20年前に知り合いの社長から同友会の例会に誘っていただきました。多くの経営者の先輩方が遅い時間まで食事とらずに勉強されていることに感銘を受け、入会を決めたのを覚えています。この間、会社を大きくできたわけではありませんが、今まで経営を存続できたのは同友会での学びと相談できる仲間がいたからだと思っています。

これからも弊社が世の中から必要とされ続けるように学び続けたいと思います。



永年表彰者

(入会順・敬称略)

会歴40年に達した会員(1名)

川本 元 (株)ボストン・ナイン 玄海

会歴30年に達した会員(21名)

松原 照明 (株)シーエススチール かすや
鳥谷 哲弘 (株)インテリア三光 博多
益田 善政 (有)バイオニア産業 西
山本 博一 (有)漸建築設計室 玄海
金沢 毅 (株)金沢石油 のおがた
中村 寿利 (株)大寿工務店 玄海
四ヶ所十郎 (有)こちら総務部 久留米

平山 悠司 (有)時計・宝石・メガネ・ヒラヤマ 筑紫
古川 徳 (有)同和化工 西
大島 康彦 (有)ルポデザイン 南
彌重 文朗 (株)みずほ不動産 西
縄田 泰三 (株)エム・エス・ピー 中央
山本 修二 (有)福岡会計事務所 東
荒木 正文 (有)荒木正文公認会計士事務所 玄海

住田 米功 (有)住福運輸 東
清水 春実 (株)清水螺子産業 北九州
原田龍太郎 (有)八祥産業 北九州
橋 光巳 (有)アールイー・パートナーズ 玄海
小宮 和彦 (有)あおぞら法律事務所 中央
玉山 昌志 (有)玉山鋼材 西
久岡 貴弘 (有)タクミク・ATR(同) 北九州

会歴20年に達した会員(35名)

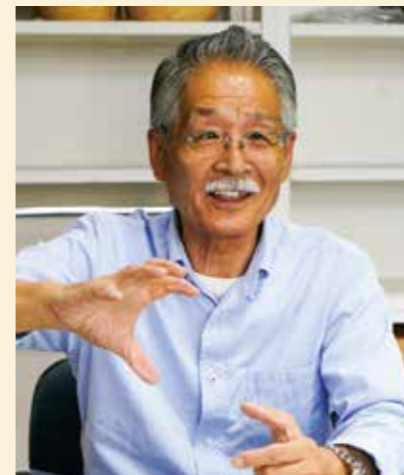
武下 俊治 (有)武下商会 福友
檜垣 賢治 (株)ヒガキ 北九州
崔 博徳 (株)セガン 玄海
辻 孝児 (有)biscuit co., ltd. 西
藤川 由美 (有)カナダラ韓国語教室 福友
塘之口 守 (株)駿河コーポレーション 筑紫
橋本 尚二 (株)村上精機工作所 のおがた
笠置 重子 (有)タイセイ 博多
野村 哲朗 (株)野村燃料 のおがた
池田 由香 (有)クレアツール-Createur- 飯塚
元山 和志 (有)城門観光 有明
竹原恵美子 (有)博多ビジネスセンター 博多
白木由里枝 (有)ディーブカオス 福博

魚住 謙介 (有)CACICA 福友
宮崎 信明 (有)宮崎蒲鉾 大牟田
岡田 義広 (有)クロボ-製菓 久留米
里村 博 (有)里村工芸 りょうちく
江上 嘉隆 (有)えがみ塗装 久留米
川邊 頼昭 (有)源流 玄海
長野 裕之 (有)アジア商事 有明
山田 吉枝 (有)山田ビル 中央
金堀 隆司 (有)K-ryuコンサルティング かすや
廣岡 正儀 (有)フクデン 飯塚
持田 千年 (有)クリーン彩花 糸島
和田 卓也 (有)ティ・シー・エス 東
石井 敏彦 (有)浮羽工務店 西

重岡 昌伸 (有)重岡工務店 西
和田 克之 (有)コンダクト 北九州
久芳 隆昭 (有)久山植木 東
鐘川貴一郎 (有)ベルテクネ かすや
向井 徹 (有)キャリアバス 東
井上 宗佳 (有)井上税理士事務所 福友
吉浦 茂弘 (有)ティーディーエス 東
齊藤 一真 (有)ジャパンネットワークグループ 福友

永年表彰者からのメッセージ

40years



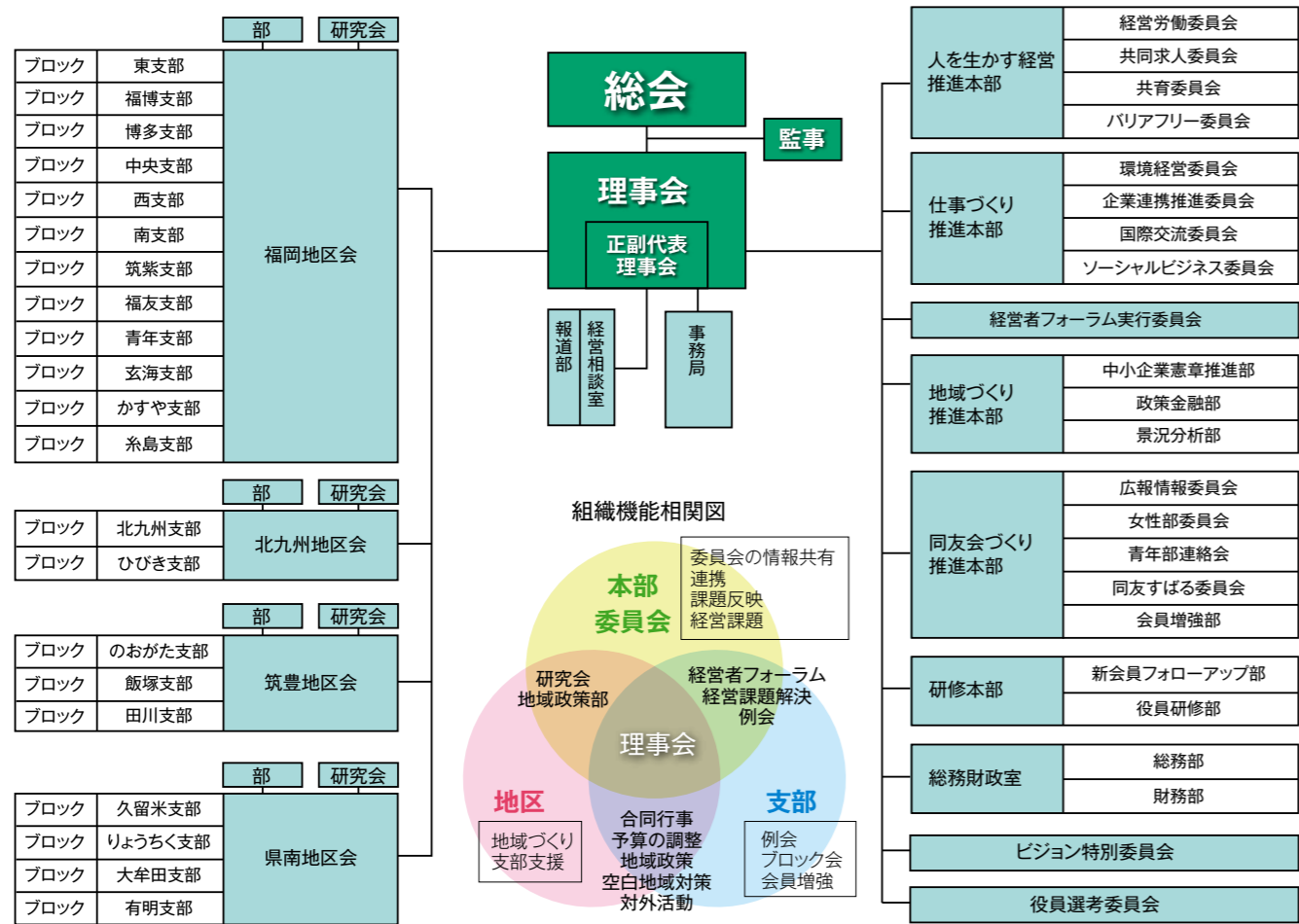
株式会社ボストン・ナイン 代表取締役 川本 元 (玄海支部)

青年支部には、四十才で卒業(卒業後に他支部に移籍する)という内規があり、卒業と同時に退会する人が多く、受け皿支部を作ろうということで有志と長時間討議し、1991年春に三十名で玄海支部を立ち上げ、私が初代支部長に就任致しました。

発足にあたり、行ってみたい例会、行かないと損になる例会を企画することとし、担当する人達も楽しく為になるようにと例会スローガンを「良く遊び・良く学び」としました。遊ぶこと(お寺で俳句づくり、船上パーティー、ファミリーアウトドア他)によって仲間を知り、本音で話せるようになり「まな板の鯉」などでお互いの経営について討議し、極端なメリハリをつけて例会運営をして参りました。(他にも裏例会というのがあり、いつも定員オーバー!!)

疑問に思ったことは素直に聞く、素直に言うのが玄海支部。三十年たっても変わらない良い所です。

今年が創立三十周年でさらに又、盛り上がることを期待しています。



支部表彰(会員増強最高の支部)

入会数(支部で紹介いただいた新会員数)	福友支部	53名
入会率(入会数を期首会員数で割った数)	博多支部	17.9%
純増数(支部で期首より増えた会員数)	福友支部	24名
純増率(純増数を期首会員数で割った数)	田川支部	12.5%

個人表彰2名(年間5名以上の新会員の入会推薦をした会員の皆様・敬称略)

氏名	事業所名	所属支部	推薦数
黒岩 幸子	創伸テクニカルサービス(株)	中央	6
浮城 守	浮城興産(株)	北九州	5

増強表彰 入会数1位

福友支部 2019年度
仲間づくりプロジェクトリーダー
有限会社ケイプランナー
清澄 由美子



2019年度新会員の方々をはじめ、関わって下さったすべての方へお礼を申し上げたい気持ちで一杯です。継続入会228カ月(2020年4月現在)が実現でき、さらに53名もの方々に入会いただけたのは、これまでの先輩方の経験とそこにある歴史や伝統のおかげです。加えて、現会員の方々の熱い思いと日々の活動、それが実を結んだものと考えます。増員は世の中に向け同友会の広報を行うこと。そのためには自身が同友会で何を果たし、何を他の方へ提供できるかを問い続けることでもありました。「仲間づくりプロジェクトリーダー」という貴重な体験を一年間させて頂いたことに、心より感謝いたします。

増強表彰 純増数1位

有限会社さくらハウジング
吉田 尚美
(福友支部)



今期の仲間づくり、単独1位となれて率直に嬉しいです。頑張ったら1位を狙える位置だったので、せっかくなら1位を狙う!!と皆に言い続けていました(笑)。最後、目標まであと2人の入会が思うように行かず諦めかけたりもしましたが、一緒に皆が声掛けを頑張ってくださいましたお陰で結果を残すことができました。目標を立てること、それを皆で共有することの大切さを学ばせて頂いた気がします。新会員さんが毎月入って頂き、積極的に参加いただくことにより、ブロックに新しい風が吹き、お陰様でブロック会の平均参加数は20名を超え、うち2回は30名を超える大盛況となる好循環を生み出すことができました。自らが積極的に参加することにより、会員であることのメリットを最大限享受できたこと心から実感しております。

2020年度 **理事・監事一覧**

(敬称略)

一般社団法人福岡県中小企業家同友会
2020年度第1回理事会議事録 (一部抜粋)

日時 2020年5月27日(水) 13時30分~16時40分 出席 36名(出席率80.0%)
会場 Web会議システム(Zoom)にて開催 議長 山田 秀樹(副代表理事)

協議事項・審議事項

経営者フォーラムについて

代表理事より11月6日開催予定の経営者フォーラムについて延期の提案があった。

11月6日に経営者フォーラムの開催を予定しているが、新型コロナウイルスの影響で現在予定している規模形式では開催できない可能性がある。また各企業の状況が大変な中、実行委員に準備をすすめてもらい直前で中止となることも想定される。現在予約している会場をキャンセルした場合、見積額の50%となる約400万の支出が必要となるが、延期(2021年12月ごろまでの使用)であれば次回開催分の会場として利用することも可能。

▶ 審議の結果、経営者フォーラムの開催を延期することとした。

報告事項

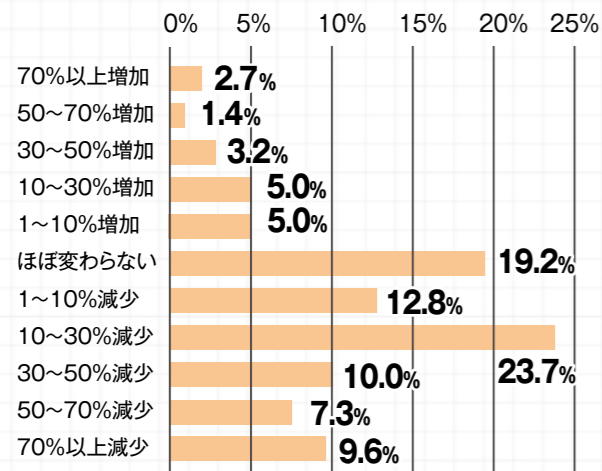
会員企業の動き

- 経営革新計画承認企業
2020年4月(県35件/うち同友会会員・企業3件)
・ビズ・リファイン(株) 中村 孝浩氏(東支部)
<テーマ>IT企業向け新卒採用に関するコンサルティング
事業展開による収益向上
・(株)KATACHI 甲斐 勇樹氏(福友支部)
<テーマ>非公開
・宮田織物(株) 吉開 ひとみ氏(福友支部)
<テーマ>織育(しょくいく)とものづくり体験を楽しめる
ショールームの新設
※累計で福岡県全体では6,761件、会員企業は延べ480件です。
- 春の叙勲「瑞宝単光章」
都地豊店 (都地 隆幸氏(玄海支部))勤務の馬渡 嘉氏

役職	支部	氏名	事業所名
理事	東	光本智恵子	(株)すこやか工房
	東	眞鍋 志郎	(株)サンビニール
	福博	高谷 幸一	(株)ユニティ
	福博	秋吉 博文	秋吉博文公認会計士税理士事務所
	福博	須藤英一郎	(株)創美
	博多	古川 淳一	(有)ニッコロ・ネット
	博多	井上 真一	(株)大匠建設
	中央	貞池 龍彦	(株)アピリティ・キュー
	中央	黒岩 幸子	創伸テクニカルサービス(株)
	西	花田 理恵	(株)サワダ
	南	新内 一秋	(株)筑紫工業
	南	中山 英敬	(株)ヒューマンライフ
	南	貞兼 朋記	(株)ルックルック
	南	金光 孝男	(株)タガイト
	筑紫	樋口 康治	(株)アイル
	筑紫	森 茂博	和 newIndex(株)
	筑紫	佐藤 勝則	(株)さとう建設
	福友	中野 正志	(株)福岡リロケーション
	福友	山田 秀樹	日本ビルケア(株)
	福友	森 慎吾	(株)アール・ツーエス
青年	隈 教暁	あかつき社労士事務所	
玄海	中村 寿利	(株)大寿工務店	
かすや	田浦 通	(株)シティーライン	

役職	支部	氏名	事業所名
理事	かすや	田中 宏之	九州SSK(株)
	糸島	草野 将	(株)まちのえき
	北九州	坂本 敏弘	計測検査(株)
	北九州	兼竹 義彦	(有)カネタケ
	ひびき	市丸 皓士	(有)ファイン
	ひびき	宮野 甲介	(有)宮野建築
	のおがた	中村 高明	(株)紀之屋
	のおがた	志柿 明子	(有)アサップ・ASAP動物病院
	飯塚	有田 栄公	(株)アブリップリ
	飯塚	重松 和孝	(有)コンサルティングオフィス
	飯塚	西田 茂	(有)西田モーターズ
	田川	杉本 利雄	(有)ラピュタ ファーム
	久留米	四ヶ所十郎	(有)こちら総務部
	久留米	緒方 徹	(有)緒方板金
	大牟田	月山 貴幸	Sarto Azzurri
	有明	竹下 政敏	竹下産業(株)
りょうちく	楢原 憲一	(株)カラーリングファーム	
—	川畑 義行	(一社)福岡県中小企業家同友会	
—	坂田いずみ	(一社)福岡県中小企業家同友会	
監事	博多	平石 勝之	Gcomホールディングス(株)
	東	山本 修二	福岡会計事務所
	福友	長井 士郎	(株)フォーユー

Q4 現時点(2020年4月)の売上は前年同月比でどうでしたか



Q5 資金繰りの見直しについておたずねします

当面不安はない	88	40.2%
借入を検討している	61	27.9%
緊急に借入が必要	9	4.1%
債務の返済計画の見直し・凍結等を検討・交渉中	1	0.5%
借入交渉中	24	11.0%
将来に備えて金融機関に相談中	31	14.2%
わからない	5	2.3%

Q7 「テレワーク」の実施状況についてお聞かせください(正社員への対応)

全社員対象に実施	25	21.4%
一部社員対象に実施	58	49.6%
実施を検討中	23	19.7%
実施していない、実施できない	11	9.4%

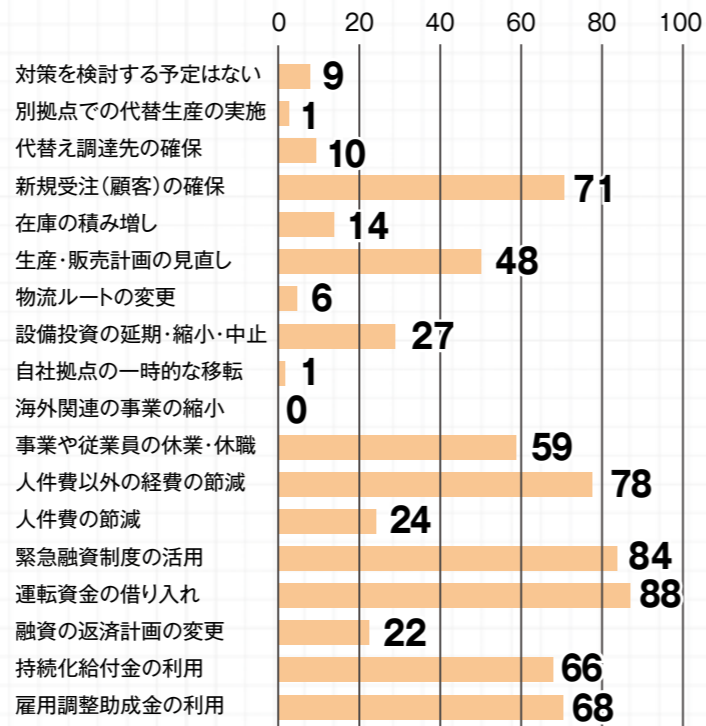
Q8 「時差出勤」実施状況についてお聞かせください(正社員への対応)

全社員対象に実施	48	21.9%
一部社員対象に実施	57	26.0%
実施を検討中	13	5.9%
実施していない、実施できない	101	46.1%

Q9 「時短勤務」実施状況についてお聞かせください(正社員への対応)

全社員対象に実施	50	22.8%
一部社員対象に実施	58	26.5%
実施を検討中	12	5.5%
実施していない、実施できない	99	45.2%

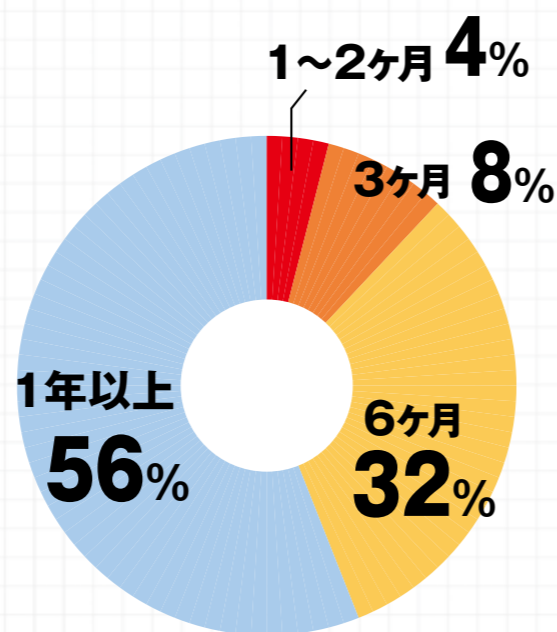
Q3 マイナスの影響に対してどのような対応を実施・検討していますか



Q4で「その他」と答えた方の回答

1 オンラインでの対応
2 テレワーク助成金
3 営業方法の社内研修・ビデオ作成等
4 感染予防対策、衛生用品の確保
5 減額交渉に条件を設け対応
6 新規事業の検討
7 通常期に十分働いているため、現状はじっとしている

Q6 今後新型コロナウイルスによる悪影響がどのくらい続くと、倒産の恐れが出ますか



一般社団法人福岡県中小企業家同友会

第2回 新型コロナウイルス感染症等 緊急アンケート調査結果

調査要領 調査時期 / 2020年5月1日~5月20日 対象企業 / 全会員 調査の方法 / e.doyu

回答企業の概要 回答数 219社(会員数2258名)

企業の業種 建設業...34社(16.9%)、製造業...28社(13.9%)、流通業・商業...31社(15.4%)
サービス業...108社(53.7%)、その他...18社

主な仕事の類型 独立型...159社(72.6%)、下請型...52社(23.7%) その他...8社(3.7%)

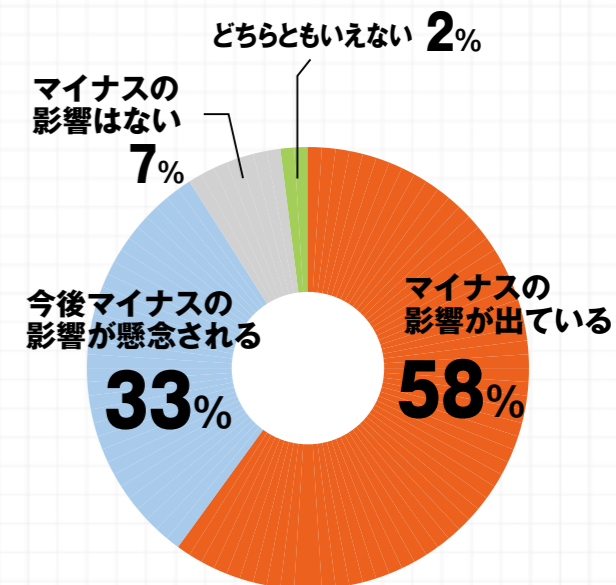
Q2 Q1で「マイナスの影響が出ている」「マイナスの影響が懸念される」と回答された方は、具体的にはどのような影響が出ていますか(複数回答)

商談遅延	106	13.4%
予約キャンセルによる売上減や損失	77	9.7%
来店数の減少等による売上減少	52	6.6%
営業日数の減少	40	5.0%
資金繰りの悪化	48	6.1%
感染防止策による従業員の勤務調整(時差出勤など)	74	9.3%
学校休校による従業員の勤務調整や社内対応	37	4.7%
業務上の感染防止策に必要な物資の不足	31	3.9%
国内外への出張の中止・延期	48	6.1%
国内仕入先からの仕入れ、調達に支障	35	4.4%
海外仕入先からの仕入れ、調達に支障	14	1.8%
海外取引先の事業停止や倒産の発生	3	0.4%
海外での販売量・輸出量の減少	3	0.4%
イベント・展示会の中止や延期	46	5.8%
物流の滞り	25	3.2%
訪日客の減少・キャンセル	8	1.0%
原材料価格の上昇	19	2.4%
営業自粛もしくは休業	53	6.7%
マスクや消毒薬など衛生用品の確保難	40	5.0%
社内に感染者や濃厚接触者が出る、または出る恐れ	34	4.3%

Q2で「その他」と答えた方の回答

1 B to B ビジネスのため、顧客がエンドユーザーに十分に営業できておらず間接的に受注量が若干少なくなっている。
2 解雇、派遣切りなどの雇用調整による社宅需要の低下
3 官公庁の自粛・企業の休業により仕事の縮小・中止
4 官公庁の申請後の決裁の遅延
5 景気悪化により契約の見直しや解約が増える恐れがある
6 経済状況が低迷することで個人の消費マインドの低下
7 経済的困窮世帯が増加の可能性、学校9月入学の可能性(約半年のスズは収入の空白がおきる可能性大)
8 顧客と対面営業できない
9 顧問先様企業の休業に伴い、税理士報酬も引き下げる状況に陥った
10 借り主の閉店、倒産等が多くなればマイナスの影響が出る可能性あり。
11 注文の減少
12 賃料の減額交渉による売上減
13 売上(依頼人数)の減少

Q1 新型コロナウイルス感染症の拡大による経営へのマイナスの影響をお聞かせください



52	借入金
53	取り敢えずテイクアウト。
54	手持ち確保のための借入。
55	常時、12か月後までの受注見込計画に基づく資金繰り表作成と手持ち資金の確保は欠かせない。社員の不安と不満を把握し、全社ならびに個別に対話を重ね、危機感を共有し、一体感を社内に持たせること。
56	新たな事業への準備期間と考え、準備を行っている。
57	新規事業の検討。
58	新規商品の販売等。
59	新規融資の獲得と各種補助金・助成金の活用。
60	神社婚の推進を企画中
61	接待業務なので、出来る限り休業し、再開した時のためのスタッフのケアと3密環境の改善。経費の見直しと資金調達
62	全社員の健康と雇用の維持と取引先の継続取引
63	全社員への営業日数分のマスク支給、アルコール手指消毒の支給、配置、個人用ブース設置等のコロナが持ち込まれた場合のクラスター対策。資金面の対策は現在のところ見送りで。
64	地域の困ったに対して我が社は何をすべきか、何が出来るのかを社員一丸となって協議を継続している。
65	伝染予防策として。手指消毒、うがいの奨励。手指消毒液の調達および、毎日デスク、ドアなど消毒液での拭き上げ。一定時間毎の換気。極力、会社内外での打ち合わせ、複数人数のミーティング回避。社内ミーティングでのソーシャルディスタンス。出勤社員数を約3割を目標としたローテーション出勤。セーフティネット補償融資の申し込み。その他の資金調達、助成金等について検討中。
66	働き方改革の推進を行った。
67	内部留保の増強、税金対策、収益物件の購入。
68	日頃から、余裕のある資金調達をすること。雇用は継続させること。
69	農地キャンプ事業の実施、距離を保つエンターテインメント
70	弊社のお客事例ですが、焼き鳥店(糟屋郡)のお持帰りチラシを4月15日金曜日、新聞に3000枚だけ折り込んだところ金土日3日で一日平均50件以上の予約が入りました。1日半で広告費ペイできたそうです。3週連続同じチラシを金曜日に入れています。いまは新聞、ポスティングの広告が少ないので、結果は出やすいです。「自粛しないと非国民と思われる」という心配については、チラシの約4分の1のスペースを割いて、店写真写真入りで「ウイルス対策と平穏な生活を取り戻すためがんばります」とメッセージを出したためか、今のところクレームはないです。緊急事態宣言直後から準備して次の週には広告を出したこの店主はすごいと思います。素早い決断と実行力を見習いたいと思いました。
71	補助金の申請と借り換え
72	融資の申込み
73	利用可能な支援金や給付金、助成金などの情報を常にキャッチし、それらの制度を活用できるように努めています。

32	経営指針の見直し、危機感を持った全社一丸体制の組織づくり、全社コストダウン、SDGsの取り組み、BCP計画作成
33	経営余力をより潤沢にするために、当社が起債する私債を取引銀行に引き受けてもらうことにした。
34	県をまたいでの出店を控えた
35	現状対策としてはなるべく従業員を交代勤務にし休業計画での雇用調整助成金を申請する事
36	雇用調整助成金・小学校等の臨時休業に伴う保護者の休暇取得支援など、職員のために出来る事は、頑張っています!
37	現時点では、既存顧客との関係性を深める以上に新規顧客とのつながりを増やしていく(足場を増やす)ことに重点を置いて活動し、順調に売上を得ている。それは既存顧客との取引が経営判断により消失するリスクを低減(分散というべきか)することを目的としている。
38	顧客企業へコロナ対応のリスクマネジメント情報の提供、社員と労使協定を締結し有給休暇の計画付与
39	国や県、または市町村で色んな格差がある。我が社(製菓・製パン業(小売業))は、今の立ち位置である町や地域のパン屋から、全国へと展開できるように商品の開発を日々寝る間を惜しみ取り組んでいます。これらの商品(特別パン・特別な材料・他社と比べ差別化された商品)をネットを通じてお客様のもとへ送るべく、ホームページの改装も並行して取り組んでいます。
40	今は売り上げは我慢して、顧客との繋がりを強固なものにする努力をしている。(御用聞き的なもの…)
41	今回収束したとしても、また同じようなパンデミック状態に世界が陥った場合に会社が存続できる(テレワークで可能な)仕事を今まで以上に増やしていく。
42	最優先は、コロナウイルスに罹患しないこと、体調に異変のある時は、速やかに皆に話し無理はしない、話し合っ取引銀行に全ての条件を聞き融資を申し込む
43	在庫を抱えて困っているお店や企業から、一部購入し、社員にプレゼントを繰り返している。
44	支援してくれる企業に対して、新しい商品開発などを全力で取り組んで社会に貢献したい。
45	資金確保
46	事業のあり方について根本から構築し直します。今度の新型コロナウイルス感染症によって永年積み上げてきた業態が崩されて、新たな業態に取り組んでいます
47	事業計画の見直し、新たな事業企画
48	社員ならびにその家族を守るための健康経営の取り組み
49	社員の体調管理のため、通常より多い休暇を4月13日より実施。この大型連休は、自分以外29日より、連休をしていただいてる。
50	社内のシステムを変更して分業制度へ移行中
51	社内の決済システムや管理システムを大幅に見直しを始めている

9	これからどの程度新型コロナウイルスの影響が持続するか不明なので、低利あるいは無利子の融資が可能であれば、出来る限りの借り入れをして会社の現預金額を確保しておく。
10	これからの営業のあり方を検討していきます
11	これまで買ってきたポリシーは変えずに出来る限り細かな受注活動を継続して行い、出費等については適正に判断し、選択を進める。内部留保は近未来の不安緩和でしかなく、これまで以上の危機感をもって業務にあたる事が重要と捉えています。
12	コロナで社会の在り方や仕組みが変わると見越しての商品やサービスの開発に着手する
13	コロナ収束後の需要回復に備えた社員の雇用の確保。休業中の社員への現状の情報共有、及び給付補償額の通知のタイミングを早める。ならびにマスクやアルコールなどの無償配布など。
14	テレワークのための環境整備中。
15	テレワークの常時実践化を計画している。
16	テレワーク等の活用、働き方改革、雇用の確保、経常利益の確保、新規受注の確保のバランスを考えながらの実施を行っている。
17	ネット事業
18	ビジネスモデルの転換
19	まずは借入をすぐに行い、助成金給付の準備をしましたが、まだ不安があります。今だからこそできる仕事がかかを社員でミーティングしながら新しい仕事の形を模索中。
20	まだ、具体策が練られていない。これから急ぎ検討をします。
21	異業種の医療品(フェイスシールド・簡易ガウン等)生産参入の、一部加工依頼の問い合わせがあっているが、ほとんどが急ぎの案件で回答しても音沙汰無しが続くので、先行きの不安と重なって精神的に参りそうになる
22	我が社は地元地域の支援もあって存在するのでこれまでの経験を活かし自社で新しい事業を開発運営することと建築の枠を超えて新しい事業分野へチャレンジすること
23	会社として社員の健康面における対応、マスク、消毒液の無償提供、残業時間の短縮等々。コロナによる影響についての対応をしている。
24	幹部によるパラダイムシフトによる思考変換
25	幹部役員で、早め早めで対策について話し合っている
26	感染防御をしっかりと、患者様に安心をもって治療していただく
27	感染予防対策の精度向上
28	業態の拡大。本業ノウハウによる福祉建設事業がうまくいきました
29	業態の転換、新規事業の構想
30	業態変更も検討しなければと考えています。
31	業務活動の見直し、ワークシェアリング、ITツールを活用して生産性向上に取り組む

Q13 テレワーク実施上の課題、不安な点はどんなことですか(複数回答)

生産性の低下	85	13.9%
情報漏洩のリスク	90	14.8%
業務上の指示や打ち合わせ等の支障	76	12.5%
一部の社員への業務集中	38	6.2%
WEB会議システムの未整備	38	6.2%
インターネット環境の不均衡	32	5.2%
インターネット通信費等の負担	16	2.6%
テレワーク中の社員の健康管理	24	3.9%
社員によって異なる就業環境への対応	66	10.8%
労働時間の管理がしづらい	73	12.0%
コミュニケーション減少による人間関係の悪化	72	11.8%

Q14 新型コロナウイルスに関連した支援策で知っているものは何ですか(複数回答)

公的な経営相談窓口	132	7.6%
セーフティネット保証(保証協会)	153	8.8%
政府系金融機関の融資制度	171	9.9%
都道府県市町村の融資制度	141	8.1%
返済猶予等の既往債務の条件変更	82	4.7%
ものづくり・商業・サービス補助金	71	4.1%
持続化補助金	146	8.4%
IT導入補助金	97	5.6%
雇用調整助成金	154	8.9%
小学校等の臨時休業に伴う保護者の休暇取得支援	90	5.2%
テレワーク導入に対する支援	108	6.2%
民間金融機関の実質無利子・無担保融資	133	7.7%
日本公庫等の既往債務の借換	59	3.4%
納税の猶予の特例	112	6.5%
固定資産税・都市計画税の減免	86	5.0%

Q15 企業の存続のために取り組もうとしていること、または取り組んだこと(反響など交えて)などありましたらお知らせください

1	感染者を絶対出さないために、従業員の健康管理を徹底しておこなう
2	DX(デジタルトランスフォーメーション:企業を取り巻く市場環境のデジタル化に対応するため、企業が行うあらゆる経済活動やビジネスモデル、企業そのものを変革していくこと)の取り組み
3	ECサイト(自社の商品やサービスを、インターネット上に置いた独自運営のウェブサイトや販売するサイト)への参入。ウェブ販売
4	BCP(事業継続計画)の災害版は作成していましたが、ウイルスに対応したものは作成していなかったため急ぎ作成するとともに、BCP全体の見直し、全員で共有します。
5	SNSを活用してCMをしていく上で知ってもらう。
6	エリアやターゲットなど、営業戦略の見直し。固定費削減のため、ソーラー発電パネルの設置
7	オンライン化ができることは、できるだけやっていく。
8	オンライン会議や授業への対応準備

Q10 「交代勤務」実施状況についてお聞かせください(正社員への対応)

全社員対象に実施	45	20.5%
一部社員対象に実施	50	22.8%
実施を検討中	16	7.3%
実施していない、実施できない	108	49.3%

Q11 Q7で「実施していない、実施できない」と回答した方にお尋ねします。テレワークを実施していない、または実施できない理由についてお聞かせください(複数回答)

対応できる業種・業態ではない(店舗や工場、営業先など、その場に行かなければ仕事にならない)	95	62.9%
制度(就業規則などのルール)が整備できていない	9	6.0%
テレワークを行う環境(対応可能なPCや情報のデータ化、ネットワーク環境)が整備されていない	14	9.3%
情報共有の仕組み(WEB会議やリモートアクセスなど)が不十分	7	4.6%
テレワークを行う上で必要なITリテラシーやスキルが不十分	9	6.0%
執務環境の違いにより業務の効率性に支障が出る	6	4.0%
社員間の業務の違いやコミュニケーション不足などによる社員の心理的な影響への懸念	9	6.0%
事業所に代わる場所の確保が困難	2	1.3%

Q11で「その他」と答えた方の回答

1	する仕事がないので、電話ではできない。
2	過剰労働など勤怠管理がしっかりとできない。
3	現場作業のため
4	社員が親族のみのため、現段階では必要と考えていない。
5	商談そのものがなくなり、テレワークの必要すらない。先方が対応できずにいる。
6	少ない人数で、距離とパーティションのある席同士なので、社員が今までどおりの出勤を希望したため
7	少人数であり問題なし

Q12 テレワークを実施する上で期待する効果などはどのようなことですか(複数回答)

生産性の向上	28	4.3%
個人情報保護への関心の高まり	14	2.2%
業務上の指示や打ち合わせ等の合理化・効率化	78	12.0%
業務分担の促進	41	6.3%
WEB会議システム等のテレワーク環境の整備促進	64	9.8%
感染症対策	130	20.0%
社員の通勤時間の短縮	64	9.8%
勤務時間中の移動時間の削減	61	9.4%
柔軟な働き方への対応	97	14.9%
社員の自主性・自律性の高まり	53	8.2%
コミュニケーションの多様化による人間関係の向上	20	3.1%

7月の行事案内

事業承継塾 第2講

事業承継の税制

7月11日(土) 14:00~17:00

■電気ビル共創館 福岡市中央区渡辺通2-1-82
電気ビル本店隣 ☎092-714-5743

■三好 美貴氏
みよし税理士行政書士事務所 所長 東支部

昨今中小企業において、「事業承継」は大きな課題として取り上げられています。いかにスムーズに受け継ぐことができるか。社長の「心意気」を伝え、企業の存在意義を受け継ぐことができるか。今後中小企業が生き残るために、事業承継を学ぶことは大きな意義があります。承継するにあたって必要になる手続きや知識、心構えを学び、企業づくりに役立てるため、共に学びましょう!(受講料:2,000円)

15水 18:00~21:00

東支部
7月例会

コロナに負けるな!(仮) ~新しい取り組みと新たな道~

■齊藤 大作氏 アトモスダイニング株式会社 取締役 東支部
■竹谷 聖氏 占部大観堂製菓株式会社 取締役 東支部
■寺下 嘉美氏 てらすもあ 代表者 東支部

厳しい状況の中でも新たな取り組みを始めようと前向きに頑張っている会員さんから報告いただき、元気やアイデアをもらいます。詳細は後日e-doyuにてご案内します。

16木 19:00~21:00

青年支部
7月例会

同友会(青年支部)ってこういう会

■WEB会議システム「Zoom」(ミーティングID等は別途連絡)

16木 18:30~21:00

りょうちく支部
7月例会

コロナ禍以後の世界

■泰泉閣 朝倉市杷木志波20 ☎0946-62-1140

■柿元 一徳氏 パーシモンズ 代表者 りょうちく支部

現状のコロナ後に、どのような世界になるのか? アフターコロナには経営者はどうの世界が待ち受けていて、それに対してどう進んでいくかを柿元氏の問題提起や最新のマーケティングより学びます。自社や自社業界の状況を会員相互に語り合い、経営のヒントやノウハウの共有につなげていきます。

16木 18:30~20:30

西支部
7月例会

経営者が知っておくべき民法改正について

■天神ビル 福岡市中央区天神2丁目12番1号天神ビル ☎0120-323-920

又は、WEB会議システム「Zoom」(ミーティングID等は別途連絡)

■石立 有氏 石立法律事務所 代表者 西支部

民法は、私人間の法律関係が定められたもので、企業にとっても重要な法律です。その民法を改正する法律が、令和2年(2020年)4月1日に施行されました。この改正は、民法が制定されてから100年以上が経過する中で、最大の改正とされています。この民法改正が企業に与える影響について、特に基礎的なものに絞って学ぶための例会です。

16木 18:30~21:00

福友支部
7月例会

■WEB会議システム「Zoom」(ミーティングID等は別途連絡)

16木 18:00~19:00
(予定)

有明支部
総会

■会場:未定

16木 18:00~21:00

中央支部
7月例会

コロナ新時代への提言 ~包容する人・もの・金・そして社会~

■RITA白金カンファレンスルーム・
福岡市中央区白金1丁目5 ☎092-731-6666

WEB会議システム「Zoom」(併用・ミーティングID等は別途連絡)

■木下 敏行氏 福岡大学 教授

日本を覆うコロナ禍に対し、緊急事態宣言の解除によっても、経済の速やかな回復は期待できない状況にあります。また、長期の自粛生活により、人々の心に大きな変化が生じた言われ、経済活動はコロナ禍以前には戻らない、とも言われています。そのような、ともすれば後ろ向きになりがちな世の中で、今後をどう生きるべきか? 今回は経済の専門家に「その先」を語っていただきます。今後の企業経営のヒントになること間違いなしです。ぜひご参加下さい!

16木 18:30~21:00

飯塚支部
7月例会

助成金

■WEB会議システム「Zoom」(ミーティングID等は別途連絡)

■白石 健吾氏
株式会社トレジャーエージェンシー 代表取締役

17金 18:30~21:00

のおがた支部
7月例会

同友会運動と企業経営は不離一体

~この難局をどうやってお互いに乗り越えるのか~

■エクセレントガーデン 直方市頓野4069-9 ☎0949-26-8808
WEB会議システム「Zoom」(併用・ミーティングID等は別途連絡)

■中村 高明氏 株式会社紀之国屋 会長 のおがた支部

年初より突然襲いかかってきた新型コロナウイルス。2020年4月7日に非常事態宣言が発出されてから当たり前の事業活動が全く出来なくなりました。飲食店を中心としたサービス業では売上激減。海外からの観光客の激減から観光業・運送業では未曾有の不景気に直面しています。厳しく耐えるだけの数ヶ月でしたが2020年5月25日に非常事態宣言が解除され、ようやく通常の業務活動が行える条件が整いつつあります。今回は、「同友会運動と企業経営は不離一体 ~この難局をどうやってお互いに乗り越えるか~」の演題で、株式会社紀之国屋 会長 中村 高明 氏に講演戴きます。同友会三つの目的に沿ったご自身の活動実績をご披露戴くと共に、新型コロナウイルスの影響と難局をどうやって乗り越えるかについてご報告戴きます。

17金 18:30~21:00

久留米支部
7月例会

17金 19:00~21:00

経営労働委員会・IT部会
合同7月例会

経営者のためのZoom会議のイロハ

■WEB会議システム「Zoom」(ミーティングID等は別途連絡)

■橋 信洋氏 株式会社スクラムソフトウェア 代表取締役 福友支部
■大神与志雄氏 有限会社アイビージー 代表取締役 福友支部
■楨本 典之氏 有限会社エムケイブレーション 後継者 南支部

今回の合同例会は、IT部会からZoomの基本的な操作方法を中心に報告していただきます。そのあと、経営労働委員会がグループ長になり、グループ討論をします。討論テーマは「これからのコロナウイルスとの向き合い方」。コロナウイルスでの心配事、困りごと、対応策などをお聞かして、参加者の皆さまに新たな気付きを得てもらえるようなグループ討論にできればと思います。

21火 18:30~21:00

玄海支部
7月例会

会社の効率を高めるPM論と気学による姓名判断

~己の社員の性格を知る事で会社の自力をつける~

■都久志会館 福岡市中央区天神4-8-10 ☎092-741-3335
■上田 啓蔵氏 西門蒲鉾本店 代表者 玄海支部

神社暦や市販されている暦には、必ず毎年・毎月・毎月の九星による運勢が書かれています。この日本で最もよく知られている占術が「九星気学」です。「九星術」は552年に伝えられたと言われ、江戸時代には「家相」などにも方位術として用いられ、大正時代に園田真次郎により「気学」として広められました。この占術の特徴は、すべての人を生まれ年から九星に分類し、運勢・相性・方位を占えることで、家相にも使用できます。よって昔から当社でも「九星気学」を占術として使用しています。

21火 18:30~21:00
(予定)

北九州支部
7月例会

コロナ禍の今、新規事業を考える

~家業の「明太子」をやめ、カメラ関連事業に参入~

■会場:未定
■魚住 謙介氏 有限会社CACICA 代表取締役 福友支部
家業の「明太子」は土産店の名店だったが、競争激化で売上が減少。いち早くネット販売やスイーツ事業に進出して、事業変革によって売上を伸ばした。現在はカメラ関連事業のみに一本化している。それらの経緯から新規事業策定のヒントを学びます。

21火 18:00~20:15
(予定)

田川支部
7月例会

今こそ変革の時、理念を見つめ直す時(案)

~変化を受け入れ経営指針書の再構築を図る(案)~

■WEB会議システム「Zoom」(ミーティングID等は別途連絡)

コロナの影響で個人、企業の在り方に変革が求められる時代へと変わりました。私達は経営者として企業を守り継続して行く為に事業の再構築を余儀なくされています。そのような状況の中で、改めて「私達はそれぞれ何のために経営をしているのか?」変えてはいけないこと、変わるべきこと、今だからこそ経営理念、経営指針を深く見つけ、経営の再構築への「根となる考え方」を学び、気付く機会とします。

21火 18:30~21:00

博多支部
7月例会

衰退する会社・成長する会社

~経営者と想いを共有する公認会計士の告白~

■WEB会議システム「Zoom」(※ミーティングID等は別途連絡)

■力丸 宣康氏 力丸公認会計士事務所 所長 博多支部

経営者をそばで見続けてきた力丸さんを報告者に迎え、成長する会社と衰退する会社の特徴を聞き、自社のあるべき姿を再考する機会にします。また、様々な経営者を見つけてきた上で、力丸さんが自社でどの様な取り組みを行っているかを伺います。

21火 18:00~20:30

糸島支部
7月例会

激動する世界の中で、
あなたはどうか生き残りますか?

■WEB会議システム「Zoom」(ミーティングID等は別途連絡)

■落合 邦正氏 西日本労務サポート事務所 代表者 糸島支部
■園分 健司氏 株式会社まちのえき 後継者 糸島支部
■松井 英征氏 株式会社ファイナルプラン 代表取締役

糸島支部新ブロック長の3人に同友会で学び実践してきたこと、そのことによって自社が変わったこと、今後学びたいことを報告して頂き、同友会の学び方や活かし方を再確認します。労使見解や、経営指針書作成についてなど改めて一緒に学びましょう!

21火 18:00~21:00

大牟田支部
総会

■グランドホテル清風荘 大牟田市原山町2-4 ☎0944-56-1212

28火 18:30~21:00

南支部
7月例会

アフターコロナのための元気が出る話

■天神ビル11階9号室 福岡市中央区天神2-12-1 ☎0120-323-920

■竹野 孔氏 株式会社タケノ 代表取締役 東支部

過去、様々な難局(バブル崩壊、リーマンショックなど)を経験した経営者が、今回のコロナショックをどう読み、どう感じ、どう行動していくのか。過去の経験を通して前進する経営者から、経営の底力の作り方を学びます。

28火 18:30~20:30
(18:30~19:00委員会)

国際交流委員会
&勉強会

■株式会社JEC 福岡市博多区奈良屋町5-10 ☎092-409-6510

28火 18:30~21:00

企業連携推進委員会
7月FAST例会

IT活用で仕事を見直し、働き方改革で利益を作る!

~業務改善の勘所に合わせて利益の出る仕組みづくり~

■中小企業振興センター
福岡市博多区吉塚本町9-15 ☎092-686-1234

■楨本 典之氏 有限会社エムケイブレーション
ITコーディネーター・中小企業診断士 南支部

ITの活用で発想を広げ、オフィス・店内・工場内などあらゆる場所において、無駄の削減から付加価値向上まで、これまで踏み出せなかった利益の出る仕組み作りを学びます。

お申し込み、お問合せは、e.doyu もしくは、同友会事務局まで
お願いします。お知り合いの方を誘って、是非ご参加ください。

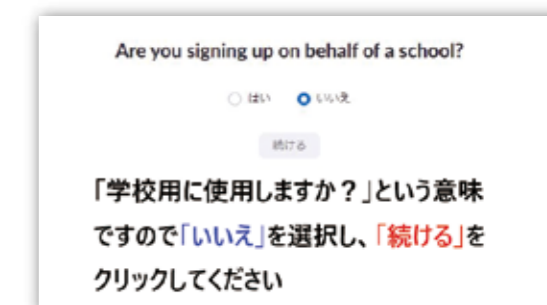
Zoom導入・使い方

「試そう! 活用しよう!! Zoom!!!」

~導入編・補足~

前号(月刊同友6月号)に掲載されている「試そう! 活用しよう!! Zoom」の導入編「⑥届いたメールにある「アクティブなアカウント」をクリックしてください」(p.13の一番上)を進むと、新たに「Are you signing up on behalf of a school?」(学校用に使用しますか?)という画面(下図参照)が表示されるようになりました。

「いいえ」にチェックを入れ、「続ける」をクリックしてください。導入編⑦へ進むことができます。





1人で悩まないで、同友会に相談を！

厳しい時こそ、率直に悩みや課題を相談し、知恵を出し合い、共に乗り越えていきましょう

身近なところで
相談ができます

専門家会員の
みなさんにも
相談しましょう

県に設置している
「経営相談室」を
ご活用ください

福岡同友会経営相談室 相談員名簿

県本部

新内 一秋	(株)筑紫工業	代表取締役	南
高谷 幸一	(株)ユニティ	代表取締役	福博
有田 栄公	(株)アプリップリ	代表取締役社長	飯塚
中村 高明	(株)紀之国屋	会長	のおがた
中山 英敬	(株)ヒューマンライフ	代表取締役	南
田浦 通	(株)シティーライン	会長	かすや
樋口 康治	(株)アイル	代表取締役	筑紫
森 茂博	和新工業(株)	代表取締役会長	筑紫

各地区の相談員

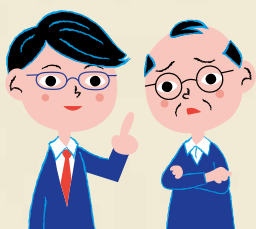
福岡地区			
古川 淳一	(有)ニッコー・ネット	代表取締役	博多
中原 均	(有)フィンテック	代表取締役	東
北原 正	社会保険労務士法人 COMMITMENT	代表社員	南

北九州地区			
市丸 皓士	(有)ファイン	代表取締役	ひびき

筑豊地区			
鶴田 和寿	コースイ(株)	代表取締役会長	飯塚

県南地区			
金川 利子	リビングT&S	代表者	久留米
林 忠範	(株)十八防災システム	取締役会長	りょうちく
園田 嘉生	園田税務会計事務所	税理士	有明

経営相談窓口 福岡県中小企業家同友会事務局 ☎092-686-1234
メールアドレス master@fukuoka.doyu.jp



福岡同友会では、事業承継相談窓口も設けております！
事業承継を先送りしていませんか？

ご相談は「事業承継相談窓口」(経営相談室内)へ

※相談無料です
※弁護士や公認会計士、税理士、中小企業診断士、社会保険労務士、司法書士、行政書士等の専門家とのマッチングも行います。

一般社団法人 福岡県中小企業家同友会
「月刊 同友」編集部

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号
福岡県中小企業振興センタービル11階
TEL:092-686-1234 FAX:092-686-1230

北九州地区センター
〒802-0001 北九州市小倉北区浅野1-2-39
クルーズ浅野ビル 808号
TEL:093-551-3111 FAX:093-551-3344

県南地区センター
〒830-0038 久留米市西町1367-1
祥栄ビル2階
TEL:0942-33-3355 FAX:0942-33-3366

<https://www.fukuoka.doyu.jp/>

福岡同友会

検索